

令和5年度 NPO活動に関するアンケート調査結果

実施期間

令和5年9月29日（金）から10月20日（金）まで

目的

このアンケートは、NPO活動や協働事業の推進を図ることを目的に、特定非営利活動法人及びボランティア団体の活動の現況や、市の支援の体制に関する要望等を伺うため、実施しました。

回収数 92 （うちオンラインによる回答22）

盛岡市市民部市民協働推進課

アンケート調査から読み取れる声（抄）

問2 貴団体の活動は、おおよそどれくらいの頻度で行っていますか。（1つ）

- ・ 「週5～7回」が最も多く、つづいて、「月1～2回」、「月3～4回」の順が多い。

問3 市と協働で実施している事業があれば、担当している課等や事業の内容をご記入ください。複数ある場合はすべて記入してください。

- ・ 協働事業を実施しているのは、37団体。
- ・ 協働事業の実施件数は、56件

問4 貴団体が、今後の活動を進めていく上で、予定している取組は何ですか。（あてはまるものすべて）

- ・ 「活動に関わってくれる人を増やす」が最も多い。
- ・ 「現状を維持したまま活動する」が最も少ない。

問5 貴団体の活動又は協働事業に関して、市に要望することは何ですか。（あてはまるものすべて）

- ・ 「助成金・補助金の交付や税制上の措置など金銭的支援をする」が最も多い。
- ・ 「業務委託など協働事業を行う課等を増やす」が最も少ない。

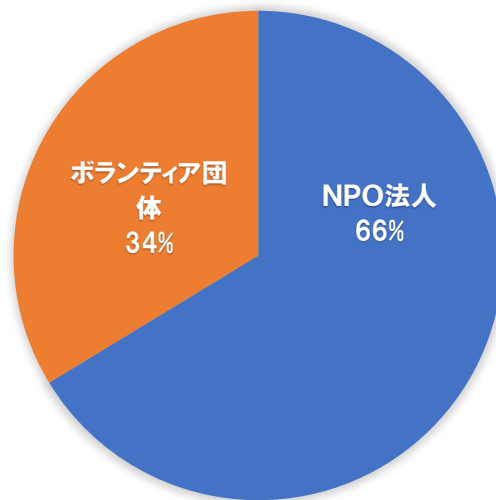
問6 【問5】に関する具体的要望や、貴団体が抱えている課題があればご記入ください。

- ・ 「助成金や補助金をお願いしたい」など金銭的支援を求める要望が多い。
- ・ 「人材不足により通常の業務で精一杯」など人材不足を課題とする団体が複数あった。
- ・ 「コロナ禍後、依頼件数が減少傾向」「コロナ禍の年度から参加者が減っている」「コロナ禍の為、活動場所をすべて失った」など、コロナの影響を受けたとの課題が挙げられた。

調査結果

問1 団体概要

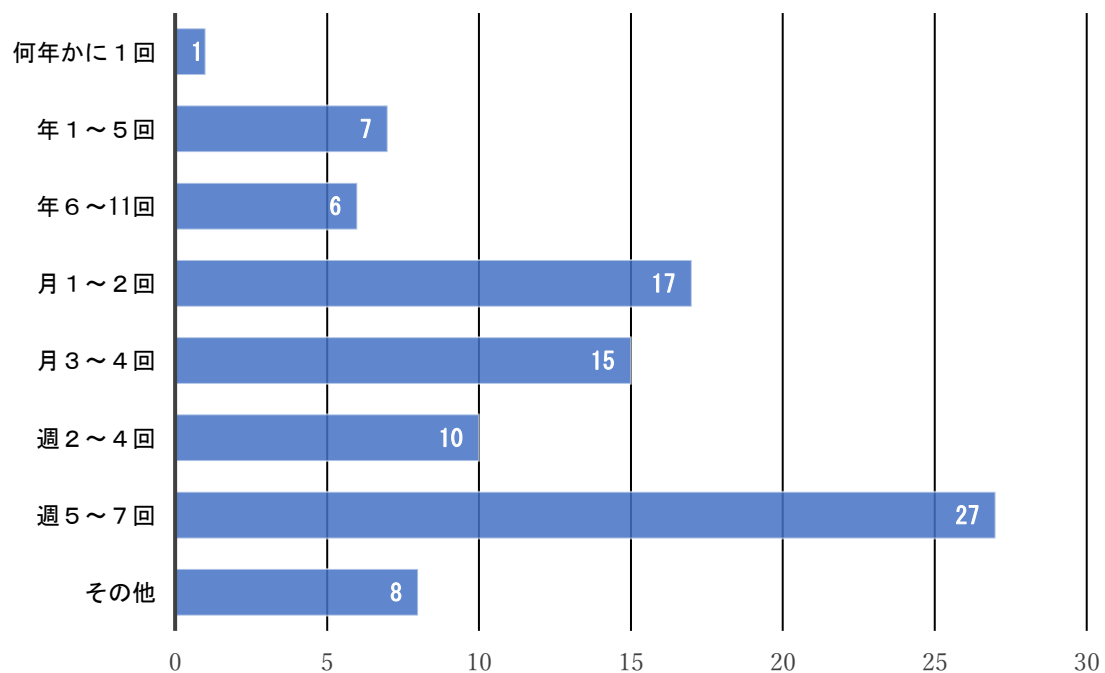
回答があった92団体の種類の内訳は、「NPO法人」が61件で66%、「ボランティア団体」が31件で34%となっている。



問2 貴団体の活動は、おおよそどれくらいの頻度で行っていますか。(1つ)

活動頻度は、「週5回～7回」が最も多い回答となっている。

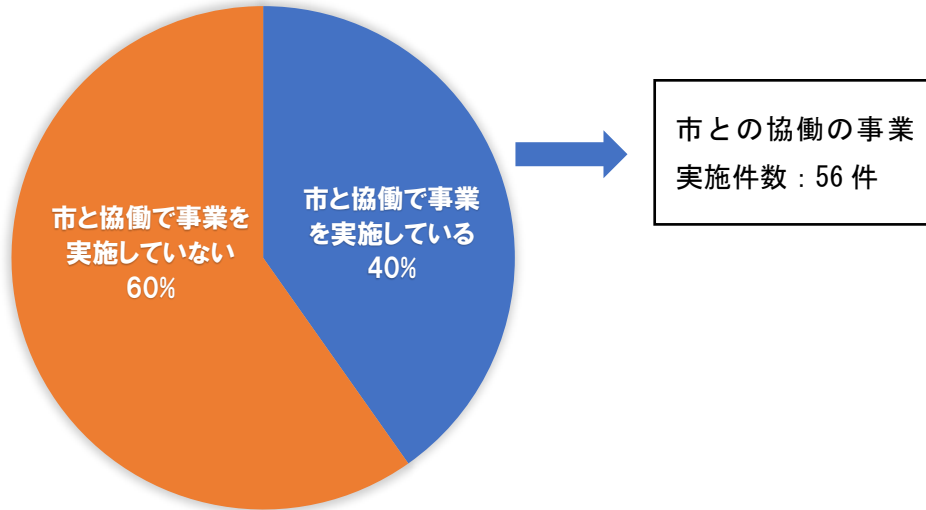
その他の記述では、「毎日」、「月30回～40回程度」、「なし」などの記述があった。



令和5年度 NPO 活動に関するアンケート調査

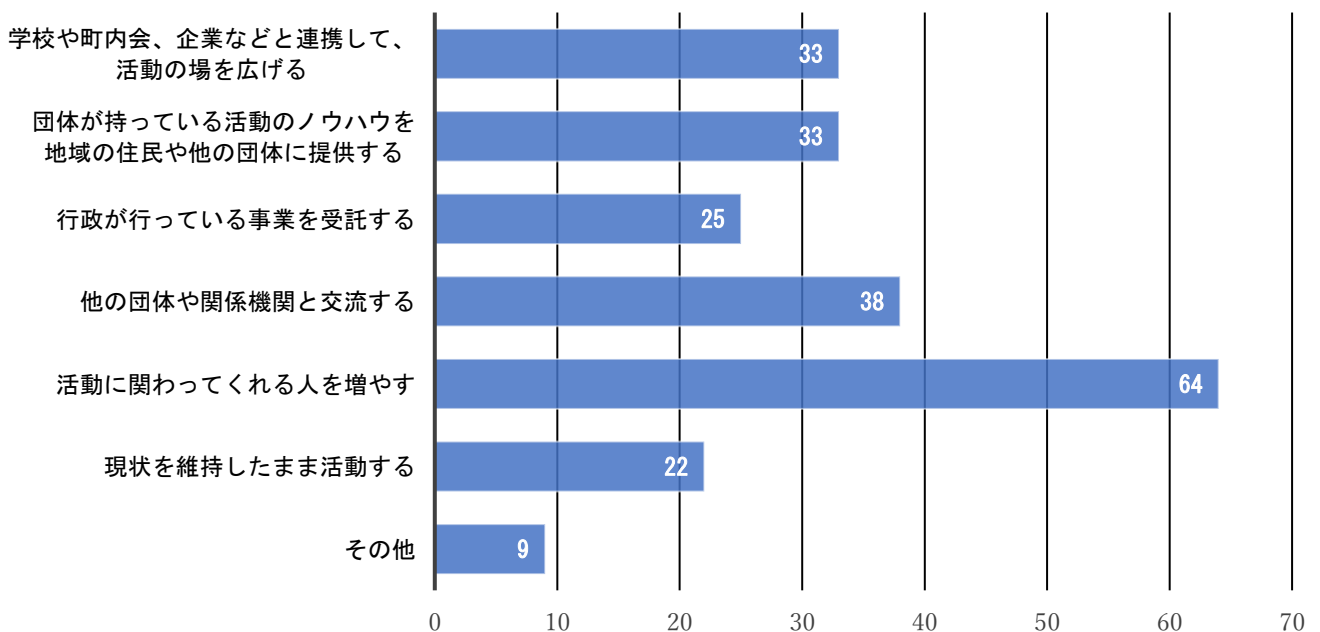
問3 市と協働で実施している事業があれば、担当している課等や事業の内容をご記入ください。複数ある場合はすべて記入してください。

市と協働で事業を実施している団体は、回答のあった92団体のうち37団体である。また、その団体から回答のあった市との協働の事業は、全体で56件である。



問4 貴団体が、今後の活動を進めていく上で、予定している取組は何ですか。
(あてはまるものすべて)

予定している取組としては、「活動に関わってくれる人を増やす」が最も多い回答であった。また、「学校や町内会、企業などと連携して、活動の場を広げる」、「団体が持っている活動のノウハウを地域の住民や他の団体に提供する」、「他の団体や関係機関と交流する」がほぼ同数であり、多くの団体が現在の活動をより拡大していきたいと考えていることが推測される。



令和5年度 NPO 活動に関するアンケート調査

問5 貴団体の活動又は協働事業に関して、市に要望することは何ですか。
(あてはまるものすべて)

市への要望としては、「助成金・補助金の交付や税制上の措置など金銭的支援をする」が最も多い回答であった。活動資金が不足していることが団体運営における大きな課題と考えられる。

また、「活動を担う人材を育成するために各種講座や研修会を実施する」、「研修を行ったり、他の団体と交流したりする場を提供する」、「インターネットや広報誌でNPO活動に関する情報を発信する」もほぼ同数で次に多い回答であり、新たな人材の確保や活動の拡大を推し進めるための支援を求めていることが推測される。

